



じゃがいものおうち通信

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

1999年6月7日

NO. 9

発行責任者 楯 篤雄 〒 891-4404 屋久町尾之間 658 - 1
TEL/FAX 09974-7-3032 mukkuri@d1.dion.ne.jp

おそくなりましたが (産業祭：4月29日) お疲れさま！

うっとうしい天気が続いていますが、みなさんお元気ですか？
ずいぶん遅くなりましたが、まずは産業祭の報告を・・・、
今回で2回目の出店となりましたが、昨年よりもさらに力が入りテント1張りに収まらないほどの品数でした。売れ行きも好調で90%は売れました。

なによりも、みなさんの制作から販売に至るまでのご協力を深く感謝致します。お陰様で、りっぱな活動となりました。ありがとうございました。



- 反省点**
- * ジャガコは500串とし、閉店時間を早めにし、その場で反省会をしたい。
 - * 木工作品 - 丸太を使った素朴な作品、実用品のまな板に人気！
 - * 焼き物 - ゆのみ、ござら、薬味入れ、がよく出ました。
 - * 役割分担を明確にする。

テント前はバナナの葉で装飾！

本来ならば反省会として、みんなが集まってやりたいところですが、また出かけて来るのが大変ですので、紙面で報告させていただきます。売り上げ金額 ¥151,807円 でした。まだまだあると思います、ご意見感想など、電話、ファックス、メール等でどしどしお寄せ下さい。

交流会をします！是非ご参加を！

じゃがいものおうちの仲間と交流したい、という声が続いてありました。

まず、6月12・13日に、種子島の手話サ・クル「たんぼぼ」さんが来島されます。

12日の夜は、尾之間の松田さん宅前庭にてバ・ベキュ - 交流会を計画しています参加希望の方は早めに連絡下さい。(楯 7-3032)

7月25日～28日の間、鹿児島市吉野町より「どんぐりのいえ」の子どもたちが、屋久島の自然をいかした遊びや、芸術的生活体験を楽しむキャンプをするために、来島されます。

(「どんぐりのいえ」はどんぐりの木々に囲まれた自然の中でヤギや鶏たちと、そして鳥や虫たちと共に、障害のある子もない子も一諸に人間的に育ち合える場になるようにとの願いから開所した幼稚園です。子どもたちがいずれ「じぶん」というものにめざめ、自らの足でたち、自らの眼で世界を観ることができるようにと願っておられます。)

夏休み中(日程未定) 屋久町原子子ども会育成会のみなさんとの交流、さらに、たまにはみんなで、ハイキングをしようと計画中です。(「たんぼぼ」との交流会以外は後日、通信で連絡いたします。)



青空に 飛行機雲が いち にい さん

楯 水生輪 (たて みぎわ)

「デフパペットシアター - ひとみ」 屋久島公演のお知らせ

聴覚障害者と健常者がともに創るプロの人形劇団です。「じゃがいものおうち」としてもチケット販売など協力したいと思っておりますがいかがでしょうか。

題 < カガミマル > 7/10(土) 14:00 ~ 屋久町総合センター：安房
7/11(日) 15:00 ~ 屋久島離島開発総合センター：宮乃浦

大王鬼神(ダイオーキシン)が支配する世界。しかし。その世界のかたすみには清らかな世界に戻ってほしいと願う少数者が、照花姫(てるはなひめ)のもとに集まってきた。果たしてこの戦いの終末は、そして「カガミマル」はこの世界を再生できるのだろうか。